



開成町と富士山

(その4)

富士山が世界文化遺産に登録されたことに合わせて、「開成町と富士山」シリーズを連載しています。あとのしみて下さい。

問 教育総務課 ☎82-5221

富士山に咲く花



富士山を代表する花といえば、
①フジザクラ ②サンシヨウバラ ③フジアザミの三つがあります。

まず、①のフジザクラ。この花は山梨県の県の花で、富士山の祭神「木花咲耶姫命」の木花がサクラを意味することから、富士山には欠かせない花です。富士吉田口登山道の中ノ茶屋周辺に約二万本の群落があります。陽春に淡紅色の小花が下向きに咲く風情から、オトメザクラとも呼ばれています。

次に②のサンシヨウバラ。葉の形がサンシヨウに似ており、初夏、日当たりの良い富士山腹に8cmほどのピンクの花を次々に咲かせます。瀬戸屋敷にも植えられていて、あじさい祭の頃、来園者を楽しませてくれます。

そして、③のフジアザミ。火山灰の富士山の斜面は、乾燥と強い風で砂の移動が大きく、普通の植物は生活できません。そ



須走道(2000m付近)のフジアザミ 2013.9 撮影

のきびしい環境の中で、フジアザミが花を咲かせます。深く根を伸ばし、少ない水分を集め、数年かけて七十cmほどの高さになります。九月頃、直径約6cm・紫のまるい花を下向きに咲かせます。

アザミの仲間では最大の花で、須走口登山道五合目の駐車場近くで、ゆっくり観察することができます。鋭いトゲに要注意。

このようにきびしい自然の中で、たくましく美しく咲く富士山の花を、みんなで応援しましょう！

(文化財保護委員会)

遠藤 将光

*文芸

開成俳句会

俳句

六月吟

ともしび短歌会

短歌

五月詠

夕顔の開花促す日暮れかな
久々に友と語らひ明急ぐ
賜りて筍コース料理かな
夕顔の汚れなき白揺れてをり
短夜や変らぬ今日の動き出す
緑陰や山寺の鐘とどきたる
明易し厨に残る餃子の香
さざ波の代田に揺るる山の影
ちよつと待つそれに在すは蓼
田植機の軽き調子や遠会釈

波多野すみ枝
有賀孝子
瀬戸悦子
下澤操子
奥津ちわき
遠藤まつ子
遠藤マツエ
遠藤美津子
濱本主雄
新井たか志

新井たか志 選

信濃路や代田明りを四方にして

信濃の広い水田地帯を旅先で地本の田圃と規模を比較しながら楽しんでる。しかも作者は読者に「代田」の美しさを「明るさ」で、更に広さを「四方」と俳句的表現をしている。一読して日本の明るい農村風景が読み取れる佳句です。

遠藤シズ子

水入るるばかりになれる山峡の

作者は、偶々訪れた山峡で、「田打ち」後の水を引き込む直前の、田圃の表面の様子を適確に詠み込んだ。特に結句は、嗅覚を働かせての簡潔な捉え方で、新鮮さに溢れ、この歌を引き立てている。

吉田 志麻

近藤 正臣 選

林立の高層ビルの窓ひかり

蜂の巣のごとオフィスあるらし
高層ビル街の窓は、現代社会の象徴。その中の沢山のオフィスでは、人々が甲斐甲斐しく働いているに違いないと詠んだ。日中の大都会での光景に着目し、巧みな比喻を用い、新感覚で捉えた一首。

辻岡 洋子

大口の桜の下でたこ焼きを

食みつ語りつる亡夫忘れがたき
亡きご主人との最後の桜狩りは大口であった。その時の亡夫の姿と語り合った内容、たこ焼きの味は、今でも鮮明という。一見平明な詠み方にみえるが、ご主人への奥深い心情が伝わってくる歌。
※大口＝南足柄市にあり、桜の名所である。

杉本シズ子